

海事局外航課 仲村、増田

電話：03-5253-8111（内線 43343、43344）

03-5253-8620（夜間直通）

平成 21 年 6 月 2 日

国土交通省海事局

## 2008 年の我が国のクルーズ等の動向について

2008 年（暦年）の我が国のクルーズ人口（邦人のクルーズ旅行利用者数）は、外航クルーズ約 10 万 3 千人、国内クルーズ約 8 万 7 千人の合計約 19 万人でした。

### 外航クルーズ

日本船社運航のクルーズ船利用者は、約 2 万人となり、昨年より約 1 千人減少したものの、この 3 年間はほぼ横ばいで推移しています。

外国船社運航のクルーズ船利用者は、約 8 万 3 千人となり、2003 年に S A R S 等の影響で大きく落ち込みボトムを形成した後、毎年増加を続けています。

日本船社、外国船社の合計では、約 10 万 3 千人と前年（約 9 万 6 千人）比約 7.3% の増加となり、2001 年以来、7 年ぶりに 10 万人を超え、最盛期の 2000 年、2001 年に次ぐ利用者数となりました。

方面別では欧州、アジア、地中海地域で全体の約 74% を占め、中でもアジア地域の増加が目立っています。

### 国内クルーズ

日本船社外航クルーズ船による国内クルーズ利用者については、約 8 万 4 千人、内航フェリー利用のクルーズ利用者が約 3 千人の合計約 8 万 7 千人と前年（約 8 万 8 千人）比約 1.0% の微減となりました。

国内クルーズの利用者は、この 10 年間、7 万 5 千人から 10 万人の間のボックス圏で推移し、底堅い一方で、頭打ちの傾向が見られます。

- ・別紙： 2008 年の我が国のクルーズ等の動向について
- ・別添 1： 2008 年の我が国のクルーズ等の動向について（図表編）
- ・別添 2： 日本船社運航の外航クルーズ船一覧、外航旅客定期航路就航状況

## 2008年の我が国のクルーズ等の動向について

2008年（暦年）の我が国のクルーズ等の動向に関するアンケート調査の集計結果をお知らせします。本調査は1986年以降、関係事業者の皆様<sup>1</sup>からご協力を頂き、毎年実施しているものです。

### 1. 2008年の我が国のクルーズ人口について（図表1参照）

2008年の我が国のクルーズ人口<sup>2</sup>は、外航クルーズ利用者約10万3千人、国内クルーズ利用者約8万7千人の合計約19万人（対前年比3.3%増）となった。

### 2. 外航クルーズの動向について（図表1～図表4参照）

日本船社が運航する外航クルーズ船利用者は約2万人と前年比約6%減少し、外国船社が運航するクルーズ船利用者は約8万3千人と、前年比約11%の増加となった。合計では10万3千人となり、2001年以来、7年ぶりに10万人の大台を超えた。

クルーズの目的別では、レジャー目的が約94%で、前年（約93%）に引続き90%を超えた。団体旅行や交流目的は前年に比べ減少した。

クルーズの長さを示す人泊数別では、1泊～3泊のショートクルーズ利用客が全体の約49%、4泊～13泊のクルーズが全体の約42%となっており、全体の人泊数は約96万人・泊となった。平均泊数は約9.3泊と前年（10.7泊）より減少した。

クルーズの方面別では、アジア地域約35%（約3万6千人）、欧州地域約29%（約3万人）、地中海地域約10%（約1万1千人）の順となった。中でもアジア地域は、前年の約26%（約2万5千人）から大きく増加している。

### 3. 国内クルーズの動向について（図表1、図表5～図表7参照）

国内クルーズの利用者は約8万7千人と前年比約1%減少した。

目的別では、レジャー目的が約88%を占め、このうちワンナイトによる利用は前年に引き続き減少した。また、インセンティブ及び交流目的による利用は増加したものの、セミナー及び団体旅行目的による利用は減少した。

泊別数では、2～3泊が全体の約45%を占め、1泊～3泊で全体の約77%を占めた。人泊数については、約22万5千人・泊、平均泊数は2.6泊で、いずれも前年（24万5千人・泊、2.8泊）より減少した。

### 4. 外航旅客定期航路の動向について（図表8及び別添2参照）

日本発着の外航旅客定期航路を利用した日本人乗客数は、約33万9千人と前年比約4%増加した。

<sup>1</sup> 我が国クルーズ船社、外航クルーズ船社代理店、クルーズを含む海外旅行を取り扱う旅行会社及び国内旅客船事業者を対象（83社にアンケートを依頼し72社から回答あり。回答率87%）とした。

<sup>2</sup> 外航クルーズと国内クルーズを合計した日本人乗客数。船内1泊以上を対象とし、日帰りクルーズは含まれない。国内クルーズは、日本船社の運航する外航クルーズ船による国内クルーズの乗客数及び内航フェリーによるクルーズの乗客数を合計したものの。

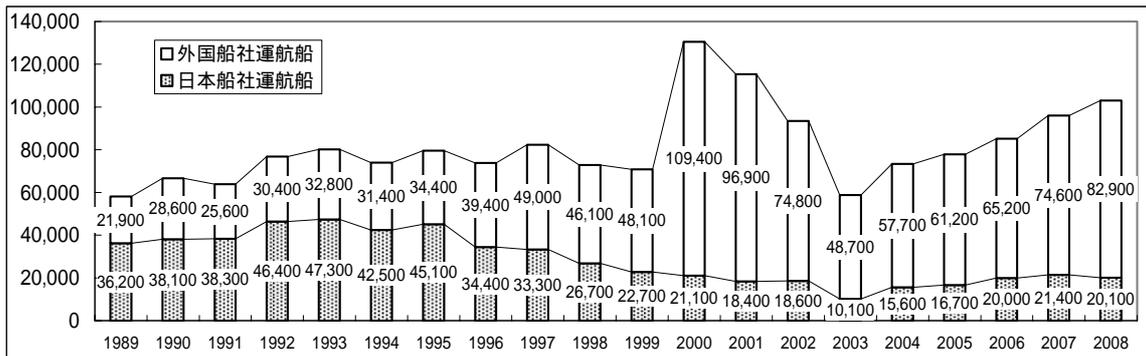
2008年の我が国クルーズ等の動向について

図表1 外航・国内クルーズ乗客数の推移

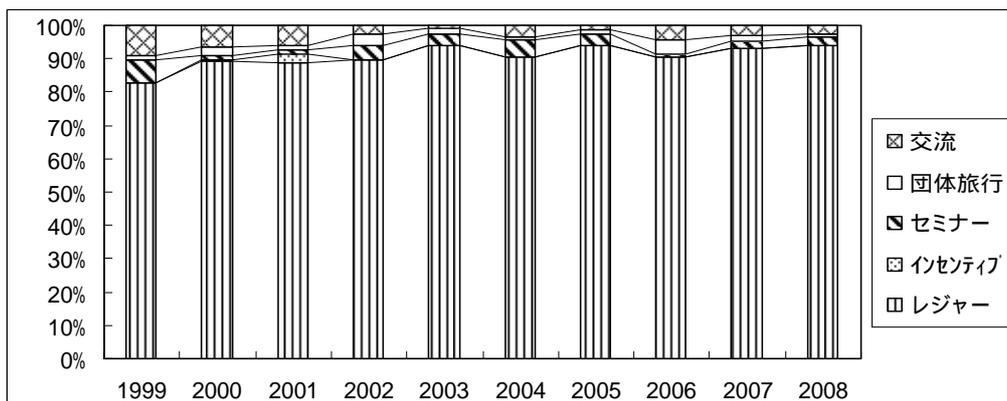
年	外航クルーズ				国内クルーズ				合計	
	日本船社運航船	外国船社運航船	小計	対前年比	外航クルーズ船	内航フェリー	小計	対前年比	合計	対前年比
1989	36,200	21,900	58,100	32.6%	95,700	-	95,700	6.5%	153,800	15.0%
1990	38,100	28,600	66,700	14.8%	108,200	-	108,200	13.1%	174,900	13.7%
1991	38,300	25,600	63,900	-4.2%	102,200	-	102,200	-5.5%	166,100	-5.0%
1992	46,400	30,400	76,800	20.2%	120,300	-	120,300	17.7%	197,100	18.7%
1993	47,300	32,800	80,100	4.3%	134,100	-	134,100	11.5%	214,200	8.7%
1994	42,500	31,400	73,900	-7.7%	134,200	-	134,200	0.1%	208,100	-2.8%
1995	45,100	34,400	79,500	7.6%	145,500	-	145,500	8.4%	225,000	8.1%
1996	34,400	39,400	73,800	-7.2%	119,900	-	119,900	-17.6%	193,700	-13.9%
1997	33,300	49,000	82,300	11.5%	95,400	7,900	103,300	-13.8%	185,600	-4.2%
1998	26,700	46,100	72,800	-11.5%	97,700	5,200	102,900	-0.4%	175,700	-5.3%
1999	22,700	48,100	70,800	-2.7%	92,900	5,600	98,500	-4.3%	169,300	-3.6%
2000	21,100	109,400	130,500	84.3%	83,400	2,000	85,400	-13.3%	215,900	27.5%
2001	18,400	96,900	115,300	-11.6%	81,600	3,200	84,800	-0.7%	200,100	-7.3%
2002	18,600	74,800	93,400	-19.0%	73,000	2,300	75,300	-11.2%	168,700	-15.7%
2003	10,100	48,700	58,800	-37.0%	77,800	3,400	81,200	7.8%	140,000	-17.0%
2004	15,600	57,700	73,300	24.7%	82,900	3,800	86,700	6.8%	160,000	14.3%
2005	16,700	61,200	77,900	6.3%	73,900	4,400	78,300	-9.7%	156,200	-2.4%
2006	20,000	65,200	85,200	9.4%	85,000	6,500	91,500	16.9%	176,700	13.1%
2007	21,400	74,600	96,000	12.7%	85,000	2,600	87,600	-4.3%	183,600	3.9%
2008	20,100	82,900	103,000	7.3%	83,700	3,000	86,700	-1.0%	189,700	3.3%

国土交通省海事局外航課調べ（以下同じ）

- (注) 1. 日本発着クルーズの他、フライ&クルーズを含む。
2. 回答の中から、重複分は除外した。
3. 内航フェリーによる国内クルーズについては97年よりアンケートを開始した。
4. 端数処理のため合計値が合わない場合がある。



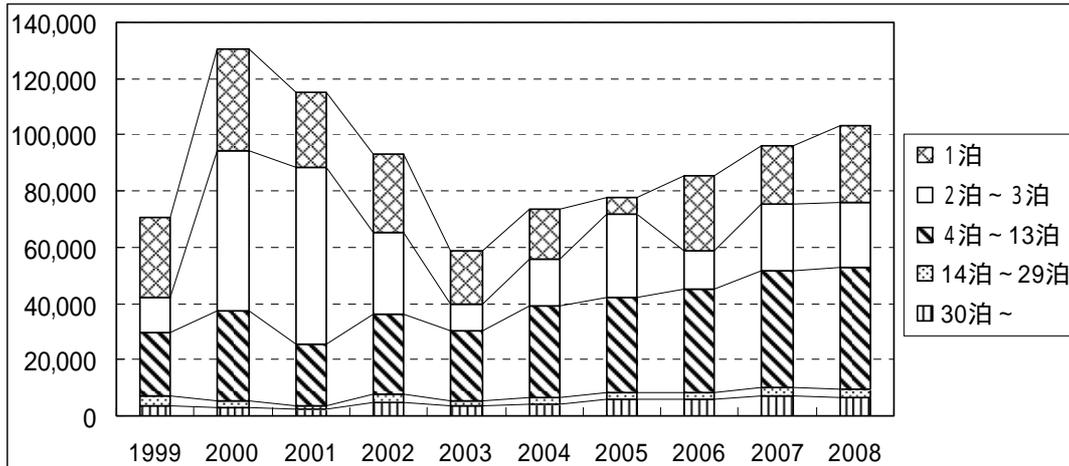
図表2 外航クルーズ目的別シェア推移



目的	2005年 (乗客数)	2005年 (シェア)	2006年 (乗客数)	2006年 (シェア)	2007年 (乗客数)	2007年 (シェア)	2008年 (乗客数)	2008年 (シェア)
レジャー	73,100	93.8%	77,200	90.6%	89,400	93.1%	96,800	93.9%
うち日本船社	12,000	15.4%	12,000	14.1%	14,800	15.4%	13,800	13.4%
インセンティブ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
セミナー	2,900	3.7%	800	0.9%	2,200	2.3%	2,900	2.8%
団体旅行	800	1.0%	3,700	4.3%	1,700	1.8%	600	0.6%
交流	1,100	1.4%	3,500	4.1%	2,700	2.8%	2,800	2.7%
合計	77,900	100.0%	85,200	100.0%	96,000	100.0%	103,100	100.0%

- (注) 1. 外国船社運航船利用者は便宜的に全てレジャー目的と見なしている。
2. インセンティブとは、企業が販売促進のため販売店、従業員等を対象に行う招待又は格安旅行をいう。
3. 団体旅行とは、社員旅行、修学旅行をいう。
4. 交流とは、墓参、姉妹港・姉妹都市間の交流を主な目的として行うもので、官公庁・市民団体等が主催する友好の船、青年の船によるものをいう。
5. 端数処理のため合計値が合わない場合がある。

図表 3 外航クルーズ泊数別乗客数推移

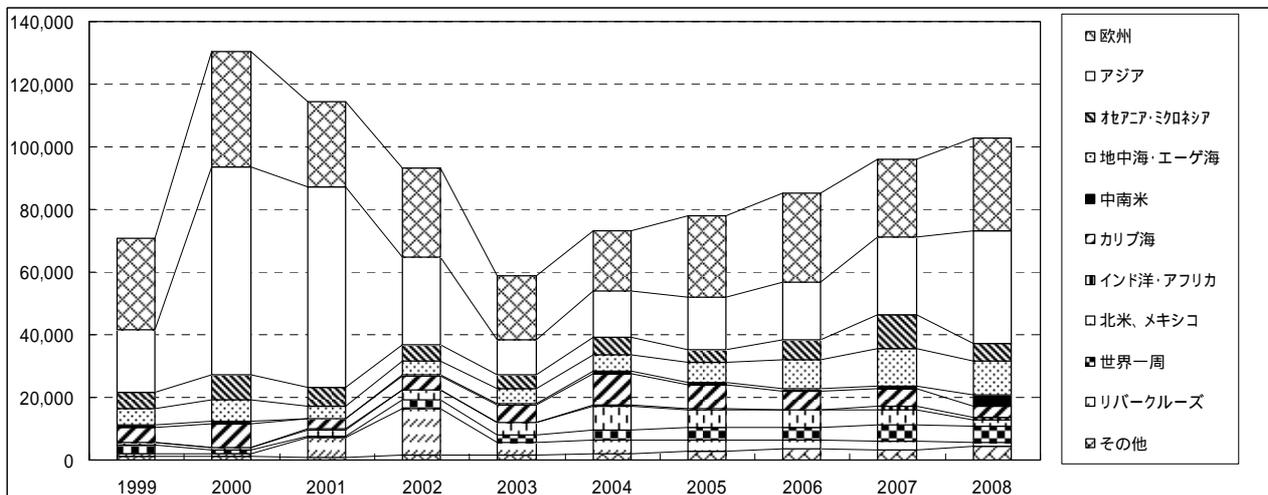


泊数	2005年	(シェア)	2006年	(シェア)	2007年	(シェア)	2008年	(シェア)
1泊	6,000	7.7%	26,300	30.9%	20,900	21.8%	27,200	26.4%
2泊～3泊	29,700	38.1%	13,900	16.3%	23,300	24.3%	23,200	22.5%
4泊～13泊	33,600	43.1%	36,500	42.8%	41,900	43.6%	43,200	41.9%
14泊～29泊	2,800	3.6%	2,600	3.1%	3,000	3.1%	3,000	2.9%
30泊～	5,800	7.4%	5,900	6.9%	6,900	7.2%	6,400	6.2%
乗客計	77,900	100.0%	85,200	100.0%	96,000	100.0%	103,000	100.0%
人・泊計	626,977		861,571		1,027,020		961,218	
平均泊数	8.0泊		10.1泊		10.7泊		9.3泊	

(注) 1. 人・泊数は各クルーズ客数と泊数との積である。  
2. 端数処理のため合計値が合わない場合がある。

図表 4 外航クルーズエリア別乗客数及び海域別シェア

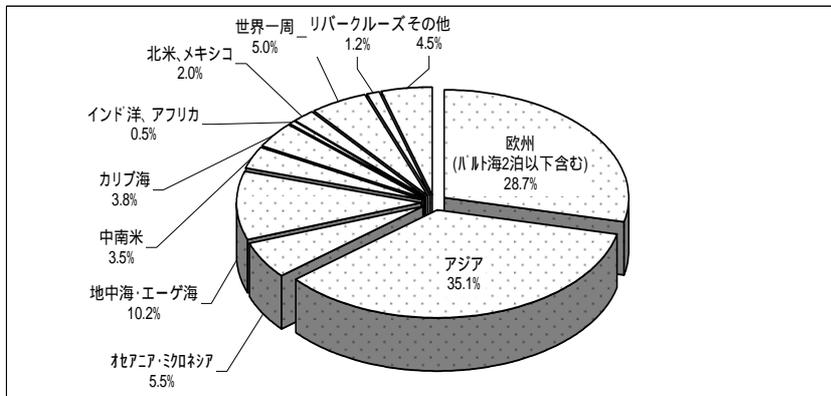
外航クルーズエリア別乗客数推移 ( 1999年～2008年 )



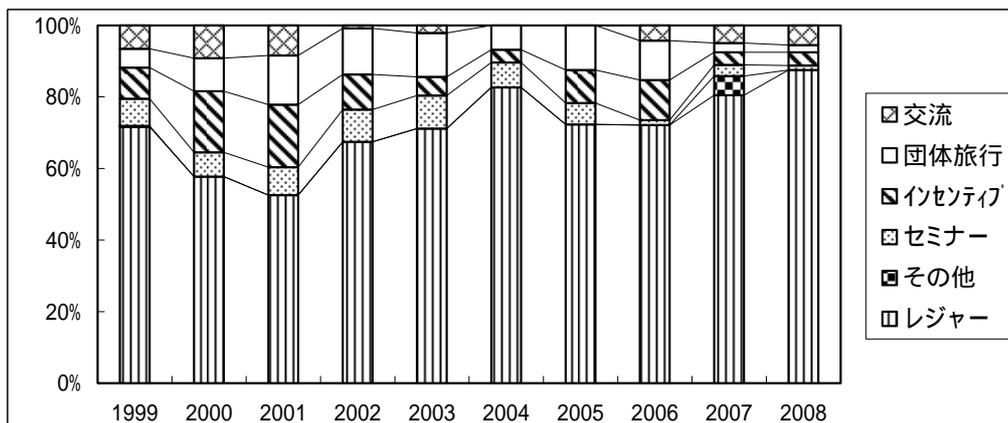
(単位：人)

エリア	2006年				2007年				2008年			
	日本船社運航船	外国船社運航船	合計	シェア	日本船社運航船	外国船社運航船	合計	シェア	日本船社運航船	外国船社運航船	合計	シェア
欧州 (うちバルト海2泊以下)	0	28,500	28,500	33.5%	0	24,600	24,600	25.6%	0	29,600	29,600	28.7%
アジア (うちエーゲ海2泊以下)	0	25,800	25,800	30.3%	0	17,300	17,300	18.0%	0	16,800	16,800	16.3%
アジア	13,300	5,100	18,400	21.6%	14,200	10,800	25,000	26.0%	14,200	22,000	36,200	35.1%
オセアニア・ミクロネシア	2,900	3,500	6,400	7.5%	3,500	7,400	10,900	11.4%	2,700	3,000	5,700	5.5%
地中海・エーゲ海 (うちエーゲ海2泊以下)	0	9,100	9,100	10.7%	0	12,000	12,000	12.5%	0	10,500	10,500	10.2%
中南米	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	100	100	0.1%
中南米	0	600	600	0.7%	0	800	800	0.8%	0	3,600	3,600	3.5%
カリブ海	0	6,200	6,200	7.3%	0	5,400	5,400	5.6%	0	3,900	3,900	3.8%
インド洋、アフリカ	0	0	0	0.0%	0	1,300	1,300	1.4%	300	200	500	0.5%
北米、アラスカ、メキシコ	0	5,500	5,500	6.5%	0	4,800	4,800	5.0%	0	2,100	2,100	2.0%
世界一周	1,300	2,900	4,200	4.9%	1,200	4,100	5,300	5.5%	1,400	3,700	5,100	5.0%
リバークルーズ	0	2,600	2,600	3.1%	0	2,500	2,500	2.6%	0	1,200	1,200	1.2%
(うち長江(三峡下り))	0	270	270	0.3%	0	200	200	0.2%	0	100	100	0.1%
(うちナイル川・サヘル湖)	0	800	800	0.9%	0	200	200	0.2%	0	500	500	0.5%
(うちヨーロッパ)	0	1,200	1,200	1.4%	0	2,000	2,000	2.1%	0	400	400	0.4%
(うちロシア、東欧)	0	200	200	0.2%	0	100	100	0.1%	0	200	200	0.2%
その他 (うち極地)	2,500	1,200	3,700	4.3%	2,500	900	3,400	3.5%	1,500	3,100	4,600	4.5%
計	20,000	65,200	85,200	100.0%	21,400	74,600	96,000	100.0%	20,100	82,900	103,000	100.0%

(注) 1. クルーズ船の船籍、運航船社の国籍は問わない。  
2. 日本発着クルーズ及びフライ&クルーズの合計値である。  
3. 端数処理のため合計値が合わない場合がある。



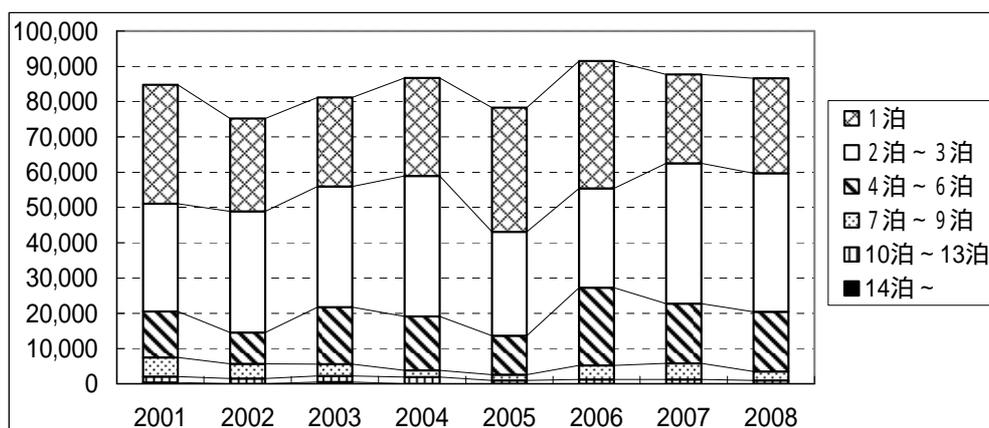
図表5 国内クルーズ目的地別シェア推移



目的	2005年	(シェア)	2006年	(シェア)	2007年	(シェア)	2008年	(シェア)
レジャー	56,600	72.3%	66,000	72.1%	70,600	80.5%	75,800	87.5%
(うちワンナイト)	27,100	34.6%	26,100	28.5%	19,300	22.0%	13,100	15.1%
インセンティブ	7,200	9.2%	10,200	11.1%	3,100	3.5%	3,200	3.7%
セミナー	4,700	6.0%	1,300	1.4%	2,700	3.1%	1,100	1.3%
団体旅行	9,800	12.5%	10,100	11.0%	2,300	2.6%	1,700	2.0%
交流	0	0.0%	3,900	4.3%	4,300	4.9%	4,800	5.5%
その他	0	0.0%	0	0.0%	4,700	5.4%	0	0.0%
計	78,300	100.0%	91,500	100.0%	87,700	100.0%	86,600	100.0%

(注) 1. 日本船社運航の外航クルーズ船及び内航フェリーによる国内クルーズが対象である。  
2. インセンティブとは、企業が販売促進のため販売店・従業員等を対象に行う招待又は格安旅行をいう。  
3. 団体旅行とは、社員旅行、修学旅行をいう。  
4. 交流とは、墓参、姉妹港・姉妹都市間の交流を主な目的として行うもので、官公庁・市民団体等が主催する友好の船、青年の船によるものをいう。  
5. 端数処理のため合計値が合わない場合がある。

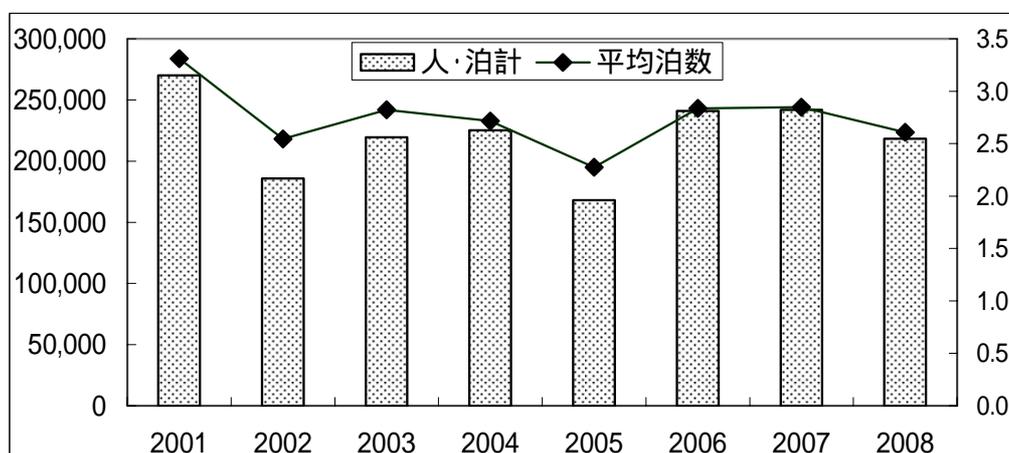
図表 6 国内クルーズ泊数別乗客数推移 (外航クルーズ船及び国内フェリー)



泊数	2005年 (シ7)		2006年 (シ7)		2007年 (シ7)		2008年 (シ7)	
1泊	35,200	45.0%	36,100	39.5%	25,200	28.7%	26,900	31.1%
2泊～3泊	29,500	37.7%	28,200	30.8%	39,800	45.4%	39,300	45.4%
4泊～6泊	11,000	14.0%	22,000	24.0%	16,900	19.3%	16,900	19.5%
7泊～9泊	1,600	2.0%	4,000	4.4%	4,600	5.2%	2,500	2.9%
10泊～13泊	1,000	1.3%	1,200	1.3%	1,200	1.4%	1,000	1.2%
14泊～	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
乗客計	78,300	100.0%	91,500	100.0%	87,700	100.0%	86,600	100.0%
人・泊計	176,000		251,000		245,000		224,700	
平均泊数	2.2泊		2.7泊		2.8泊		2.6泊	

(注) 1. 人・泊数は各クルーズ客数と泊数との積である。  
2. 2001年から集計を開始した。  
3. 端数処理のため合計値が合わない場合がある。

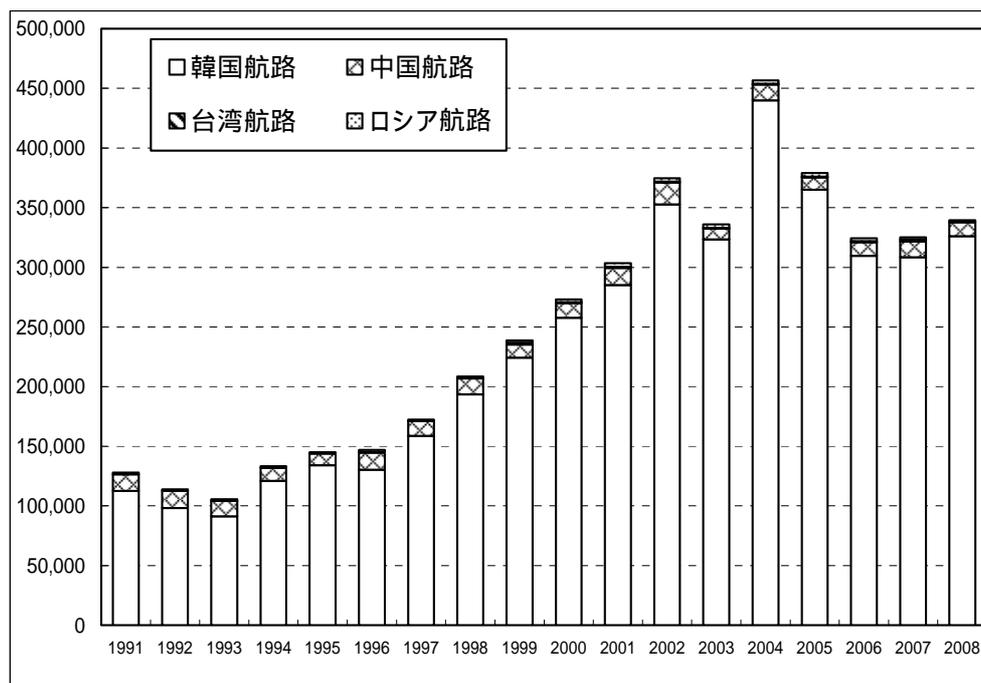
図表 7 国内クルーズ人泊数の推移 (外航クルーズ船のみ)



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
乗客計	81,600	73,000	77,800	82,900	73,900	85,000	85,000	83,700
人・泊計	270,100	185,700	219,600	225,200	168,000	241,000	242,000	218,300
平均泊数	3.3	2.5	2.8	2.7	2.3	2.8	2.8	2.6

(注) 1. 人・泊数は各クルーズ客数と泊数との積である。  
2. 端数処理のため合計値が合わない場合がある。

図表 8 外航旅客定期航路の日本人乗客数の推移



(単位：人)

年	韓国航路	中国航路	台湾航路	ロシア航路	合計	対前年比
1991	112,500	14,000	1,400	-	127,900	-
1992	98,200	14,400	1,300	-	113,900	-10.9%
1993	91,300	12,900	1,400	-	105,600	-7.3%
1994	120,900	11,100	1,300	-	133,300	26.2%
1995	134,100	9,600	500	600	144,800	8.6%
1996	130,400	14,200	600	1,600	146,800	1.4%
1997	158,700	12,400	1,300	-	172,400	17.4%
1998	193,400	13,400	1,600	-	208,400	20.9%
1999	224,200	11,000	1,700	1,800	238,700	14.5%
2000	257,700	12,200	1,000	2,200	273,100	14.4%
2001	285,100	14,300	1,000	3,100	303,500	11.1%
2002	352,700	18,300	800	2,900	374,700	23.5%
2003	323,500	9,000	600	2,900	336,000	-10.3%
2004	440,000	13,100	800	2,800	456,700	35.9%
2005	365,000	10,300	700	3,000	379,000	-17.0%
2006	309,500	11,500	800	2,500	324,300	-14.4%
2007	308,500	13,200	1,600	2,000	325,300	0.3%
2008	326,000	11,800	-	1,600	339,400	4.3%

日本船社運航の外航クルーズ船一覧

(平成21年4月現在)

船名	ふじ丸	にっぽん丸	飛鳥	ぱしふいっくびいなす
運航会社	日本チャータークルーズ(株)	商船三井客船(株)	郵船クルーズ(株)	日本クルーズ客船(株)
総トン数	23,235	21,903	50,142	26,594
乗客定員(人)	600	532	800	644
航海速力(ノット)	18	18	23	18.5
乗組員(人)	130	190	470	220
就航年月	1989年4月	1990年9月	2006年3月	1998年4月

(注) 1. (社)日本外航客船協会調べ  
 2. 日本チャータークルーズ(株)は、商船三井客船(株)、日本クルーズ客船(株)の共同出資によるチャータークルーズ会社

【参考】日本関係船社運航船

船名	クリスタルシンフォニー	クリスタルセレニティ
船籍	パナマ	
運航会社	クリスタル・クルーズ	
総トン数	51,044	68,870
乗客定員(人)	940	1,080
航海速力(ノット)	21	22
乗組員(人)	545	655
就航年月	1995年5月	2003年7月

(注) 1. 国土交通省海事局調べ  
 2. クリスタル・クルーズは、日本郵船(株)全額出資の米国子会社

外航旅客定期航路の現況

(平成21年4月現在)

航路名	運航者名	国籍	船名	船籍	船籍	運航頻度
下関～釜山	関釜フェリー(株)	(日)	はまゆう	(日)	フェリー	毎日1往復
	釜関フェリー(株)	(韓)	星希(SEONG HEE)	(韓)	フェリー	
博多～釜山	JR九州高速船(株)	(日)	ニューかめりあ	(日)	フェリー	毎日2～3往復
			ビートル2世	(日)	ジェットfoil	
			ビートル3世	(日)	ジェットfoil	
			ビートル	(日)	ジェットfoil	
	未来高速(株)	(韓)	コピー	(韓)	ジェットfoil	毎日2～3往復
			コピー	(パ)	ジェットfoil	
大阪～釜山	パンスターライン(株)	(韓)	パンスター・ドリーム	(韓)	フェリー	毎日1往復
			パンスター・サニー	(パ)	フェリー	
			パンスター・ハニー	(パ)	フェリー	
巖原・比田勝～釜山	(株)大亜高速海運	(韓)	シーフラワー	(韓)	高速船	週6往復
神戸・大阪～上海	中日国際輪渡有限公司	(中)	新鑒真(XIN JIAN ZHEN)	(中)	フェリー	週1往復
大阪～上海	上海フェリー(株)	(日)	蘇州号	(中)	フェリー	週1往復
神戸～天津	チャイナエクスプレスライン(株)	(日)	燕京号	(中)	フェリー	週1往復
下関～青島	オリエントフェリー(株)	(日)	UTOPIA	(パ)	フェリー	週2往復
下関～太倉(蘇州)	下関上海フェリー(株)	(日)	UTOPIA 2	(パ)	フェリー	週1往復
稚内～コルサコフ	ハートランドフェリー(株)	(日)	アインズ宗谷	(日)	フェリー	年間38航海(5月～10月)
小樽～ホルムスク	ザハリン船舶会社	(ロ)	ザハリン7	(ロ)	フェリー	運休中

国土交通省海事局調べ

(注) 国籍・船籍の略称は、(日)日本、(韓)韓国、(中)中国、(パ)パナマ、(ロ)ロシア